こんにちは NO.17

日本の学童ほいくニュースです

夏休み、いかがお過ごしですか?キャンプ、花火、海水浴、子どもたちにとっては一番楽しいときです。しかし、プールでの事故が物語るように、危険はいつでも子どもたちを襲ってきます。今月号の特集は「生命の大切さを伝えたい。子どもたちの生命、大切にしたいですね。

今月号の一押し

その1

特集・生命の大切さを伝えたい 生きる意味が危うい日々に、 それでもいのちは薫る

中央大学教授 横易 園子

自殺未遂で発見された小学4年生のお話、辛かったです。 大人はみんな"その子のために!"って、たくさんの課題を 乗り越えることで、子どもは大きくなれるんだと信じている。 一生けん命な心で、その子に求めていく。でも、時に、その ことが、一人の子どもを追い込んでいくこともあるんだよね。 心の中にある叫びを、外に向かって吐き出せた時、その子は "幸せだな..."って宮いた。私ももう一度"この子のために" という思い、問い返してみます。

ての2

特集・生命の大切さを伝えたい

"生命の大切さを伝えたい"の特集 お母さんたちからの 投稿に、子どもは健康で当たり前に生まれてくるのではない のだとあらためて思いました。いろんな病気と闘って、みん な小さいながらに、一生けん命生きようとしている。そして 親もまた、小さな命から、どんなにたくさんのことを授かっ ていることか…。今回の特集で、"子どもが生きている"その ことの尊さを再びかみしめたい…そう思いました。

8月号の特集

生命の大切さを伝えたい

生きる意味が抱うい日々に、それでもいのちは薫る中央大学教授 横場 園子

いつの間にやら大きくなって...

都留市さわやか教室保護者 新田 敏子

平坦な道式かりではないけれど

阿南市のこのこクラブ保護者 久保田 愛

一人ひとりが大切

生駒市俵口学童保育所保護者 山本 眞里子

親子でともに、今を生きる

津幡丁第2あしの子クラブ保護者 堀田 雅子

たくさんの思い出をありがとう

横兵市みなみひまわりクラブ保護者OB 林 則子

私が生命を実感したとき

保護・指導員

ともに生きる喜びを支える

飯能市原市場学童かたくリクラブ指導員 河野 伸枝



今月の都連協人

読者のひろば キュンキュンとしてきます

江戸川区指導員 柳 洋子



ほいく詰の感想 このニュースへの意見 いろいろお 寄せください。

作り手も募集しています。

今月号の一押しその2

ての1

表紙 楽しい!

ニャンコも、みんなみたいに夏休みの宿題やりたかったのかなぁ~。驚く子どもたちの表情と"文句あんの?"のニャンコの表情がおかしくて笑っちゃう!!福田さんいつも楽しい表紙をありがとうございます。来月号も楽しみだなあ~!!

ての2

特集・生命の大切さを伝えたい ともに生きる喜びを支える

飯能市原市場学童かたくりクラブ指導員 河野 伸枝 河野さんのように、私も"生命の大切さ"を考える時 やはりそれは"人と人とがつながりあうこと""ありの ままの自分をお互いが大事にしあえること"そんな根っこを思い浮かべます。そして、どんな子の中にもある"人 として大きくなりたいんだ"という思いを大切にしたい、"コウノ"の胸で安心して泣き続けたアヤ。学童保育は そういう場でありたいね。

ての3

岸本さんのカメラでこんにちは

子どもたちの写真の1つを見て、思わず"クスッ!!"だって勉強の時間であろうその時に、本の間にマンガ本はさんでちゃっかり見ている子たちがおかしいんだもん!いたずらっぱく会話を交わしているその瞬間を岸本さんがパチリ!指導員の目は見事盗めても、カメラの目からは逃れきれなかったね~君たち!

ての4

子どもたちのまなざし

親の愛情届いていますか

大阪市立加賀屋小学校教諭 土住いく子 今月号の土佐先生は 日曜参観での「親子学級会」のお話です。親子のあり方、子育てのありようについて考えてみるという企画です。子どもたちの声の多くは「いっしょに してほしい」。うれしいときは「遊んでくれた時」。親が愛情だと思ってしていることが、まっすく愛情として届いていくよう、子らの声に耳を傾けてやりたいです、と結んでいます。

次号予告9月号

特集・大規模 子どもからのSOS

・大規模を除する

子どもにとってどんな問題なのか

・適正規模にむけた分離・増設の取り組み

ほか

がそう

高大康政

講座・障害児の発達保障と生活づくり

白石正久

子どもたちのまなざし

土住いく子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちは/父母会/子育て日記/わたしは指導員/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ ほか